



通巻 No.258 2025年5月4日

ご復活号

教会報ほんじょ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2
TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732
<https://www.catholic-honjyo-church.org>

INDEX

- 「聖年五か月目」
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- 「写真で見る 聖週間」
- 「教皇フランシスコ 逝去」

「聖年五か月目」

主任司祭 パウロ 豊島 治

五月のご挨拶を申し上げます

私事になりますが、五月八日は私の叙階日です（まだ日曜日に叙階式が可能だった時代でした）。その日は主の昇天の祝日でした。今年で二十周年となり、本所教会では今年四月にお祝いとなりました。
この場を借りて感謝申し上げます。

通常叙階をお祝いするのは二十五年と五十年すなわち銀祝と金祝そして長寿の時代ですのでダイヤモンド祝やプラチナ祝もみられます。一方で昨今司祭叙階年齢が高くなったため叙階の際にお世話になった方々が病気がちにならているのを見るとさやかな二十年記念感謝の交わりもアリかと私は考えました。今回神学校に入るきっかけを与えて下さった方に本所教会のイースターカードをそえてその旨お伝えしました。

司祭になることを希望していることを最初に口にしたのは教会ではなく通っていた公立の中学でした。通っていた教会の司祭が主任・助任司祭ともに代わり、同時に教会に迫力を感じたのですが、そんな勢いもあって中学二年の課題であった「人生設計」という作文に司祭になることを

記したのです。それがどういうわけか学年便りにそのまま掲載され、おまけに町内の掲示板にまで張り出される公開告知となりました。住んでいた区にはカトリック教会は無く、理解されるべきところが誤解されました。映画「エクソシスト」が有名なので、私は西洋版陰陽師になりたがっているという噂まででて、通学路ぞいのたばこ屋さんの人から再考を促されました。

とにかく、あまり目立たない存在であってであらう私が騒ぎの渦中になりました。そんな雰囲気が一番怖い先生といわれた数学担当＆担任の先生が「おまえは、なれない」と。そのときの小テストができていなかったのでした。クラス全員の前での一喝という修羅場でありましたが、その全員がその先の私の助け手となってくれました。ですから町の中学校二年A組の仲間たちが私の司祭になりたいという気持ちを応援してくれたのです。自分の弱点を認識し探求しながら無我夢中で生きてこられたのはこの交わりの由縁と思います。

ちょうど五年前、ネットで私を捜して洗礼を志願してきたA組の一人がいました。A組担任の先生のお墓参りに行こうと誘ってくれました。卒業してから知ったのですが、先生はメソジスト派のクリスチャンでした。神学校に入学したことを年賀状

でつたえると「すばらしいことです」との返事でした。ですから私のこれまでの司祭職への道は迷惑をかけながらも助けられ関わった人全てが今でも支えであります。

先日その中学課題を見つけました。三十二歳に司祭になる内容が記されています。実際、私はその年に叙階されています。三十五歳で主任司祭になると記していましたが、実際三十五歳で主任司祭に任命されました。その後教皇さまと同じ祭壇に立つことが叶うとありますが、実際は六年前に実現しました。

使徒座は代替わり。歴史の中で示される神がこれからも聖霊を通していろいろなことが投げかけられるでしょう、教会が皆さんとともに救いの道具となり希望をもちつつづけることができますように。
新たな教皇さまに期待しましょう。

ちなみに課題の記録によると私は八十八歳で帰天予定です。それまでどうぞよろしく。